

令和3年度 和歌山市立西和佐小学校スクールプラン

校長名 藪本 みゆき

作成日

令和3年4月23日

和歌山市学校教育目標

- 確かな学力の育成
- 道徳教育の充実
- 健やかな体の育成
- 特別支援教育の充実
- 不登校・いじめ問題の解消
- 子どもの安全確保の徹底
- 地域とともにある学校づくりの推進

保護者・地域の願い

- 子供の学力を定着させてほしい。
- 明るい楽しい学校にしてほしい。
- 相手の気持ちがわかる子どもに育ててほしい。
- 地域に誇りをもってほしい。

【学校教育目標】

強いからだと明るい心をもつ子どもの育成

【めざす児童像】

- (1)自ら考え意欲的に学ぶ子ども
- (2)人権を尊重し主体的に行動する子ども
- (3)豊かな心で自然や人々とのふれあいを深める子ども
- (4)健康な子ども

前年度の学校評価

- 地域の方々の結びつきや「感謝の心」を育てる活動を継続してほしい。
- 「西和佐だより」などの新聞を学校から地域へ発信してほしい。

児童（生徒）の実態

- 自分からあいさつできる児童が少ない。
- 落ち着いて学習に取り組む。
- 家庭学習の時間が少ない。
- 清掃活動などみんなで一生懸命に取り組む。

重点目標

確かな学力の向上

- ◎基礎・基本の確かな学力
- ◎児童主体の授業の推進
- 家庭学習の定着
- 読書活動の推進

豊かな心の育成

- ◎人権・同和教育を推進するとともに、人権意識の高揚に努める。
- ◎道徳教育を柱とした教育活動の充実
- ◎自他共に大切に教育活動の実践
- 仲間づくり活動の実施

健やかな体の育成

- ◎基本的な生活習慣の確立
- ◎体力向上の推進
- 危機回避能力の育成
- 人間の体を知る

地域とともにある学校

- ◎保護者の子育てや教育に対する意識を高める。
- ◎地域の教育資源や人材を活用しながら交流活動を行う
- ◎幼・小接続の推進
- ホームページを充実させ情報発信

具体的な取組

- 「和歌山の授業づくり基礎・基本3か条」の徹底を図る
- 「基礎タイム」の時間を活用し、基礎学力の定着を図る
- 話す力・聞く力・話し合う力・書く力とコミュニケーション・スキルの系統的に取り組み、生きる力を育む。
- 「家庭学習の手引き」を参考に保護者の協力のもと家庭学習の定着を図る
- 必ず「朝読」の時間を確保し、読書を習慣づける

- 教育活動全体を通じて地域・教職員子供双方の信頼関係を築く。
- 職員は保護者との連絡を通して、子供のよさを共有しながら心豊かな子どもを育成する。
- 「特別の教科 道徳」で児童がしっかり考え話し合う活動を大切にする
- いじめアンケートを複数回実施し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努める
- 情報モラルやネット社会に潜む危険について、保護者と共に学ぶ機会をもつ
- 各行事において主体的に子供たちが関わる機会をもつ

- 「早寝・早起き・朝ごはん」を推奨する
- 体育科で活動時間を多く取り入れるように工夫する
- 晴れの日には運動場で体を動かすように声かけをする
- 避難訓練や交通安全教室を計画的に行い、危機回避能力を育成する
- 「保健」の教科学習や保健行事を行うなかで、自分の体について知る。

- 学級懇談会で児童の様子を伝えたり、教育講演会等を開催したりして、保護者の子育てや教育に対する意識を高める。
- 地域の自然や文化を積極的に活用する
- 地域の方々や関連した方々をゲストティーチャーとして依頼し、地域学習を推進する
- 学校開放月間を充実させる。
- 運営委員会に幼稚園教頭も参加し、幼・小連携の充実を図る
- 各種便りやホームページなどを通して積極的に情報を発信する

指標

- ・全国学力・学習状況調査や県学習到達度調査で正当数の県平均値を目指す
- ・児童がわかる授業、児童主体の授業を実践する(教員90%以上)

- ・学校が「楽しい」と感じる(児童90%以上)
- ・「特別の教科 道徳」の授業が「楽しい」と感じる(児童80%以上)

- ・毎日、朝ごはんを食べてくる(児童95%以上)
- ・体力テストの平均値を県平均値以上を目指す

- ・保護者アンケート「子供の活動の様子をわかりやすく伝えている」(保護者90%以上)
- ・地域への情報発信が行えた(保護者90%以上・地域の方等の声)

◎：特に重点的に取り組むこと